

令和3年、丑年です。福島県の牛といえば…「赤べこ」！古くは、厄除け牛や幸運の牛と呼ばれていたそうです。ちなみに写真の子は、高さ1.8mの巨大赤べこです。

そして、福島の美味しい牛肉も忘れてはいけません!!



さて、現地事務所からの第2回は、震災伝承施設の紹介です。

『震災伝承施設とは、東日本大震災から得られた実情と教訓を伝承する施設です。事実や記憶、経験や教訓を伝えることで新たにできる教訓・伝承の道『3.11伝承ロード』を構成する施設です。』（震災伝承施設ホームページより）青森県、岩手県、宮城県、福島県の施設が登録されておりますが、福島県内では、



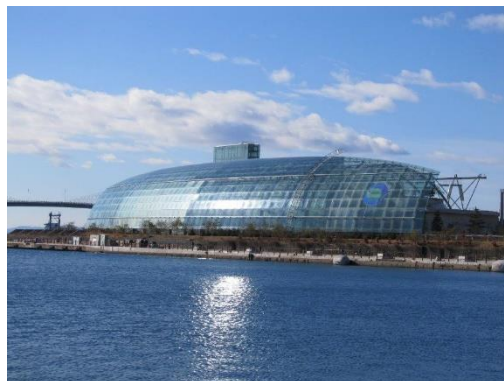
←東日本大震災・原子力災害伝承館（隣接の双葉町産業交流センターには、フードコートや屋上展望スペースがあります）

相馬市伝承鎮魂祈念館（近くには、相馬復興市民市場浜の駅松川浦があります）→



←いわき震災伝承みらい館（近くには、同じく震災伝承施設の薄磯防災緑地があります）

アクアマリンふくしま→



などが登録されています。

その他の登録施設等につきましては、震災伝承施設のホームページ

(<http://www.thr.mlit.go.jp/sinsaidensyou/sisetsu/index.html>)

をご覧ください。

こちらは、昨年開館20周年を迎えたアクアマリンふくしまで、オープン当初からいたトドのイチローさんです。震災時は、静岡県沼津市の伊豆・三津シーパラダイスに避難しました。



<追加レポート>

視察後のメモから、今回、先に紹介した施設のうち、「いわき震災伝承みらい館」に行った際のものを合わせて掲載いたします。

○ いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市）

令和2年5月30日にいわき市薄磯に開館したいわき震災伝承みらい館の視察に行きました。こちらには、津波の脅威を物語る品々や津波の映像の展示があります。



旧いわき市立豊間中学校にあった職員用のタイムレコーダーです。津波の到達時刻で止まっています。

こちらでは、震災語り部による定期講話も行われています（スケジュールについては、いわき市震災伝承みらい館のホームページ (<https://memorial-iwaki.com/>) でご確認ください。)

近くには、平成30年3月に完成した薄磯防災緑地があります（植えられたマツ等が大きくなっていました。)



津波の到達時刻前後で止まっている時計を浪江町でも見ることができます。こちらは、浪江町立請戸小学校です（現在、敷地内に立ち入ることは出来ません。また、周辺の道路は、舗装状態がよくないので、ご注意ください。)



語り部による講話は、東日本大震災・原子力災害伝承館でも行われています。

あの時、なにがあったのか。そして、この経験をどう未来につないでいくか…こうした施設や展示を見たり、実際に体験された方のお話をお聞きし、いろいろ考えます。